

嵯峨直恒*・本村泰三**：阪井與志雄先生の御逝去を悼む

Naotsune SAGA and Taizo MOTOMURA: Yoshio SAKAI (1923-1989) in memoriam



前北海道大学教授阪井與志雄先生は平成元年4月14日に胸部疾患のため、約5ヶ月の闘病ののち、札幌市において御逝去された。享年67歳であった。

先生は大正12年5月26日北海道函館市に生まれ、昭和23年3月に北海道大学理学部生物学科（植物専攻）を卒業後、植物分類学講座の副手になられ、翌24年6月から助手を勤められた。昭和36年12月より北海道立水産試験場養殖部増殖科長として転出され、北海道立稚内水産試験場増殖部長、北海道立網走水産試験場長を経て、昭和49年4月北海道大学理学部教授・附属海藻研究施設長に任命された。昭和62年3月をもって退官され、札幌市内のご自宅で、残されたお仕事の整理をしながら悠々自適の毎日を送られていた。

阪井先生は山田幸男教授のもとで、当時難しいとされていたシオグサ目の分類学的研究を精力的に行い、昭和36年にはそれらの成果をまとめ「日本産緑藻シオグサ目の分類学的研究」という題名で学位論文を完成し、理学博士の学位を授与された。

北海道立水産試験場に赴任してからは、コンブ類の増養殖に関する研究へと転身した。すでに北海道大学海藻研究施設の神田千代一博士により本邦産のコンブ

目植物の生活史は解明されており、微小な配偶体の存在が明かとなっていた。その当時、北海道における主要な産業種であるコンブ類植物のニーズが台頭しつつあった時代背景もあり、水産庁北海道区水産研究所、北海道立水産試験場などの道内の水産関係の各機関により、微小な配偶体を利用したコンブ類の養殖研究も開始されていた。先生はコンブ類の増養殖の発展のためには、コンブ類の発生・生長と沿岸海域の環境との相互関係が重要であるという考えのもと、コンブ類の生態学的研究を始め、先生のリーダーシップのもと若手研究員との共同研究により多くの成果をおさめた。一方、試験場の試験研究体制の整備も熱心に行い、特に栽培漁業総合センターの設立には多大の御尽力をされた。

北海道大学理学部附属海藻研究施設に転任してからは、先生御自身のライフワークであったシオグサ目の分類学的研究を続けるかたわら、海藻類の形態形成や生活環の制御に関する研究をスタッフと共同で行い、また当施設に所属する多くの大学院生の指導にあたった。先生の温厚でリベラルな人柄が醸し出す自由闊達な雰囲気の研究室で若い時代のひと時を送った門下生は誰でも海藻研を懐かしく思い出す。一方、先生は藻類の応用研究にも興味を持ち、長年培った水産関係の幅広い人脈を生かし、農林水産省のバイオマス研究プロジェクトや北海道水産部の赤潮やホタテ貝毒対策プロジェクトにも積極的に参加された。

日本藻類学会においては、その発起人の一人として、学会設立に努力なされ、幹事及び評議員として学会活動にも貢献され、昭和58年の室蘭での日本藻類学会第7回大会では大会会長として重責を果たされた。

退官後も、北海道におけるコンブ類について、また阿寒湖のマリモについて今までの研究成果をまとめるべくワープロを連日たたいていたとうかがっている。このような形で完成を見ることが出来なかったことは、先生御自身も残念であったと推察するが、残された我々藻類学にたずさわる後進一同にとっても残念ではない。

阪井先生は終始、藻類学に対し水産増殖並びに理学的側面から真摯な態度で研究・貢献された。御自身

の研究には厳しい態度で接しられた反面、他人に対しては温厚誠実な人柄で親しく接され、学生に対しても公私にわたり面倒を見てこられた。5カ月にわたる長期の闘病生活でさぞかし苦しかったことと思われるが、つらさはあまり表に出さず、卒業生・学生の生活、研究、家族のことを気にかけておられた。

最後に阪井先生の主要な業績を紹介し、心から御冥福をお祈りする。

(*085 釧路市桂恋116 水産庁北海道区水産研究所,
**051 室蘭市母恋南町1-13 北海道大学理学部附属海藻研究施設)

主要業績目録

1. On some species of *Spongomorpha* from Hokkaido, Japan. Sci. Pap. Inst. Algal. Res. Hokkaido Univ. 4: 71–82 (1954).
2. マリモ毬団上に見られる珪藻. 藻類 6: 60–67 (1958).
3. チャシオグサの関節の構造について. 藻類 8: 1–4 (1960).
4. 小石に着生するマリモ属植物の附着器官. 藻類 8: 117–123 (1960). [榎本と共著]
5. マリモの球形集団形成に関する一実験. 藻類 9: 73–75 (1961). [山田と共著]
6. 様似町オリピンサンド工場粉塵による被害. 北水試月報 20: 98–100 (1963). [駒木と共著]
7. The species of *Cladophora* from Japan and its vicinity. Sci. Pap. Inst. Algal. Res. Hokkaido Univ. 5: 1–104 (1964).
8. 忍路湾におけるホソメコンブの雌性配偶体と孢子体. 北水試報告 2: 1–6 (1964). [船野と共著]
9. 北海道産コンブ属植物の幼体 I. ホソメコンブおよびマコンブの幼体について. 北水試報告 3: 39–42 (1965). [船野と共著]
10. 北海道産コンブ属植物の幼体 II. リシリコンブの幼体について. 北水試報告 5: 31–35 (1965). [中津と共著]
11. 稚内市におけるコンクリート・ブロック礁のリシリコンブについて. 北水試報告 5: 36–44 (1965). [中津と共著]
12. 徳志別川下流域および河口海域における鉱山排水影響調査. 北水試月報 23: 126–134 (1966). [瀧・富田・中津と共著]
13. リシリコンブの生態. 北水試月報 24: 454–467 (1967). [石川・蒲原・金子・中津と共著]
14. 忍路湾における二年目ホソメコンブの生態. 北水試報告 8: 1–37 (1967). [船野と共著]
15. コンブを対象としたコンクリートブロック礁の効果についての一考察. 北水試月報 26: 798–802 (1969).
16. Vegetation structure and standing crop of the marine algae in the *Laminaria*-bed of Otaru City, Hokkaido, Japan. Jpn. J. Ecol. 27: 41–51 (1977).
17. Studies on the morphogenesis of Laminariales plants. I. Regeneration of fragments from sporophytes of *Laminaria japonica* Aresch. Bull. Jpn. Soc. Phycol. 25 (suppl.): 297–301 (1977). [with Saga]
18. Two marine *Cladophora*-balls from Japan. Bull. Jpn. Soc. Phycol. 25: (suppl.): 319–326 (1977). [with Umezaki and Nakahara]
19. Clone *Laminaria* from single isolated cell. Bull. Jpn. Soc. Sci. Fish. 44: 87 (1987). [with Saga and Uchida]
20. Notes on *Cladophora opaca* and *C. rupestris* f. *submarina* (Chlorophyta). Jpn. J. Phycol. 27: 143–148 (1979).
21. Notes on *Cladophora sauteri* f. *kurilensis* collected from Lake Kawaguchi. Jpn. J. Phycol. 28: 47–50 (1980).
22. The life history of *Pogotrichum yezoense* (Dictyosiphonales, Phaeophyceae). Sci. Pap. Inst. Algal. Res. Hokkaido Univ. 7: 1–15 (1981). [with Saga]
23. Effect of chelated iron in culture media on oogenesis in *Laminaria angustata*. Bull. Jpn. Soc. Sci. Fish. 47: 1535–1540 (1981). [with Motomura]
24. 海藻類の培養による生活環制御及び形態形成に関する研究. 昭和56年度文部省科学研究費補助金一般研究 (C) 研究成果報告書. 55 pp. (1982).
25. A new method for pure culture of macroscopic algae, the one step selection method. Jpn. J. Phycol. 30: 40–43 (1982). [with Saga]
26. Induction of callus from the marine brown alga *Dictyosiphon foeniculaceus*. Plant Cell Physiol. 23: 727–730 (1982). [with Saga and Motomura]
27. Axenic tissue culture and callus formation of the marine brown alga *Laminaria angustata*. Bull. Jpn.

- Soc. Sci. Fish. **49**: 1561–1563 (1983). [with Saga].
28. Isolation of protoplasts from *Laminaria* and *Porphyra*. Bull. Jpn. Soc. Sci. Fish. **50**: 1085 (1984). [with Saga]
29. Ultrastructural studies of gametogenesis in *Laminaria angustata* (Laminariales, Phaeophyta) regulated by iron concentration in the medium. Phycologia **23**: 331–343 (1984). [with Motomura]
30. Regulation of gametogenesis of *Laminaria* and *Desmarestia* (Phaeophyta) by iron and boron. Jpn. J. Phycol. **32**: 209–215 (1984). [with Motomura]
31. Life history and ultrastructure of *Carpomitra cabreræ* (CLEMENTE) KÜTZING (Phaeophyta, Sporochneales). Jpn. J. Phycol. **33**: 21–31 (1985). [with Motomura and Kawaguchi]
32. Ultrastructural studies on unclear division in the sporophyte of *Carpomitra cabreræ* (CLEMENTE) KÜTZING (Phaeophyta, Sporochneales). Jpn. J. Phycol. **33**: 199–209 (1985). [with Motomura]
33. A list of marine algae from the vicinity of the Institute of Algological Research of Hokkaido University, Muroran, Japan. Sci. Pap. Inst. Algol. Res. Hokkaido Univ. **8**: 1–30 (1986).
34. Life history of *Cladophora opaca* and *Cl. conchopheria* (Chlorophyta). Jpn. J. Phycol. **34**: 209–215 (1986). [with Wang]
35. The occurrence of flagellated eggs in *Laminaria angustata* (Phaeophyta, Laminariales). J. Phycol. **24**: 282–285 (1988). [with Motomura]